

栄養管理センター

主任 櫻井 聖子

展望と実績

JCI取得後、温度管理・開封日、消費期限の記載・定期的な清掃を徹底するようになりました。衛生管理を行ううえで重要なことだと思っています。また消化器の使用方法を覚えたり、災害対策を身につけたことは、自分達の身を守るうえで必要なことでした。厨房内では火災のリスクは常にあるので何かあったから対策をとるのではなく、訓練を重ねて何かあっても訓練通りに動けるようにしたいと思っています。

部署内の取り組みとしては、今までどおりスタッフ一人ひとりが常に疑問を投げかけ、より良い方向へ改善できるよう意見を出し合い、単純なミスを減らし、業務を標準化し、「安全でおいしい食事」を提供することを目標としています。

院内・院外研修会の参加を積極的に行いました。学会発表や地区の症例報告など、院内における活動を他施設に報告することもできました。

栄養指導業務において、月1回行っている外来糖尿病教室では2009年より行っている1食600kcalの弁当の提供を続けています。患者さんや家族からも好評で、「味付けが参考になった」「やっぱり普段食べ過ぎていた」「意外と満足できる」などの声をいただいています。糖尿病の治療の1つとして食事療法は重要な役割を果たすとされています。教室に参加した患者さんの食生活改善につながっていけるよう今後も工夫していきたいと思っています。また今年も11月に糖尿病チームと長谷寺（鎌倉）で血糖測定のイベントを行いました。管理栄養士は希望者に食生活のアドバイスを行い、また低カロリー甘味料の紹介を行いました。今後もこのような活動を通して地域貢献していきたいと考えています。

2013年実績

食数	435,119食／年 (月平均 36,260食)
栄養指導件数	10,840件／年 (月平均 903件)
栄養管理計画書枚数	53,217枚／年 (月平均 4,435枚)

学術業績

学会発表

- 櫻井聖子：足病変のある患者におけるNSTの介入効果，第16回日本病態栄養学会学術集会，京都，2013.
- 若林奈々：NST介入によって栄養改善し早期退院できた短腸症候群患者の一例，第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会，石川，2013.
- 櫻井聖子：心臓血管外科術後の創部離解における栄養状態の検討，第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会，石川，2013.
- 若林奈々：クロストリジウム・デフィシル感染患者に成分栄養剤を使用した一例，第28回日本環境感染学会総会，横浜，2013.
- 櫻井聖子：経腸栄養用ポンプ使用の有用性，第29回日本医工学学会学術大会，横浜，2013.
- 岩井菜穂子：外来糖尿病教室参加者の食事に対する意識調査，第56回日本糖尿病学会学術集会，熊本，2013.

シンポジウム

- 櫻井聖子：心臓血管外科における栄養管理の重要性，第29回日本医工学学会学術大会，横浜，2013.
- 櫻井聖子：下肢壊疽を有する血液透析患者の栄養管理，第10回日本フットケア学会鎌倉セミナー，鎌倉，2013.